# 清瀬市立中学校 特別支援教室(サポートルーム) 保護者説明会資料

令和7年9月25日 (木) 「サポートルーム」教員

阿部 聡子 伊藤 弦哉 吉田 菜那子 加賀美 杏香 田中 盛陽 濵田 鉄太

「サポートルーム」の紹介

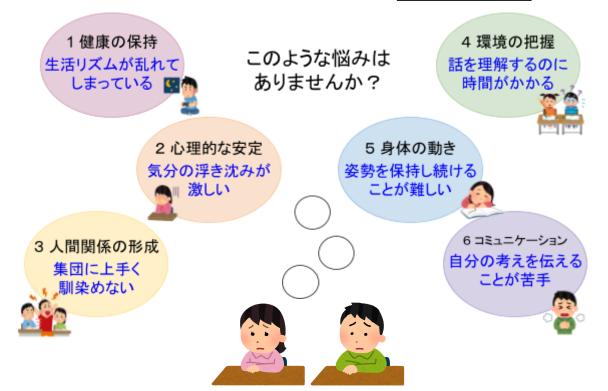
#### **○サポートルームとは?**

通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒を対象に、「自立活動」の指導を行う場所です。その生徒の状態に応じた特別な指導を行い、学習上または生活上の課題を克服することで、学校生活が円滑に送れるようになることを目標としています。

特別支援学級・通級による指導 教育課程編成の手引 参照

## ○指導内容

※「自立活動」・・・サポートルームで行う6区分27項目の指導領域



#### ○サポートルームの仕組み

- ・ **自立活動**に基づいているので、 教科の指導はしていません。
- ·指導期間は、<u>原則1年間</u>です。
- ・授業形態は**週1回1時間**を基本とします。



## 【指導形態】





個別指導

小集団指導

## ○時間割について

- ・抜ける教科は、担任や各教科の先生・生徒本人と相談し、時数が多い授業から選択します。
- ・サポートルームの利用時は、出席扱いになります。
  - ⇒ただし、その時間のノートやプリントは**生徒が自分で受け取りに行く**必要があります。



☆お子様が直接教科担任に聞きに行けるように、 サポートルームで支援をします。

## ○令和7年度巡回指導について ※来年度の巡回日は未定です

令和7年度 巡回日	月	火	水	木	金
清瀬中学校				巡回日	
清瀬第二中学校	巡回日				
清瀬第三中学校				巡回日	
清瀬第四中学校	巡回日				
清瀬第五中学校				巡回日	

※指導する教員は各学校の巡回日のみ、勤務しています。

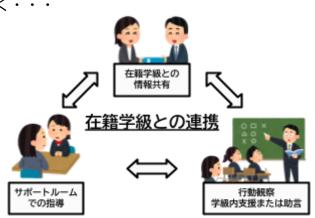
⇒巡回日以外の日も、各校の『特別支援教室専門員』を通じて、連携をとっています。



## ○在籍学級との連携

サポートルームでは、週1時間の自立活動だけではなく・・・

- ⇒**行動観察**による学級内でのつまずきの把握
- ⇒在籍学級の授業の**学級内支援または助**言
- ⇒担任や教科担任との<u>情報共有</u>による<u>連携</u> を行っています。



#### ○生徒Aさんの場合

- ・相手の話を聞かず、自身の話を一方的に話す。
- ・その場に適さない発言を衝動的にしてしまう。
- ・学んだコミュニケーションスキルを日常生活で活用しようとする。
- ・落ち着いて考えると相手の気持ちを考えることができる。



「日常生活のふりかえり」 日常の出来事をイラストで ふりかえる

相手の気持ちを視覚的に知る

「サポートルーム劇場」 学校で起こり得る場面を設定し、 その場に適した言動を演じる ↓ 場に応じた関わり方を学ぶ

#### 「ボッチャ」

小集団授業で行い、順番などの<u>ルールを守って集団</u>参加をする方法を学ぶ活動。

⇒衝動的な言動を防ぐ



## ○生徒Bさんの場合

- ・覚えることや、学習したことを記憶し続けることが苦手である。
- ・漢字の形や読みを覚えることに苦戦している。
- ・「勉強を頑張りたい」という気持ちが強くある。
- ・周囲に自分の苦手をわかってほしい。



「お助けロボット」 学習方法の提案 過敏に対する配慮の依頼 → 合理的配慮の実現

<u>「イングリッシュ・フラッシュ!」</u> <u>英単語の意味をイラストで確認し、</u>実際にスペルを 書いて、<u>「覚え方」を学ぶ</u>教材。

⇒自分に合った覚え方を身につける



#### ○生徒Cさんの場合

- ・初めての事柄に対する不安感や心配がとても強い。
- ・自己表現することが苦手だが、心に秘めている思いはある。
- ・見通しが持てていると安心して活動に参加できる。
- ・信頼できる友だちはいるが、困り感やわからない事柄に対して周囲を頼ることができない。

#### 「キャット&チョコレート」

困ったことやわからないことが あった時の伝え方を実践的に学ぶ

周囲を頼る・助けを求める スキルの向上



#### 「こころ日記」

<u>日付・天気・今の気分を表す色・直近の出来事や</u> <u>考えたこと</u>等を書き、その内容について<u>教員に説明</u> していく教材。

⇒自己表現・考えのアウトプット



## ○入室の流れ



#### ○必要書類

- ① 入室申込書
- ② 学校生活支援シート(一部)
- ③ 発達検査(WISC-IVまたはV等)の結果(3年以内のもの)

#### 発達検査(WISC-IVまたはV等)が取れる場所

- ・子どもの発達支援・交流センター とことこ
- ・多摩北部医療センター
- 教育相談

~ ~

# ○教室紹介







清瀬第二中学校



清瀬第三中学校



清瀬第四中学校



清瀬第五中学校





指導内容によっては、教室を広く使う場合もあります。

Q:現在の通室人数は何人ですか?(令和7年9月1日現在) 計63名

A:

	一年生	二年生	三年生	合計
清瀬中学校	3	6	0	9
清瀬第二中学校	8	5	12	2 5
清瀬第三中学校	0	1	6	7
清瀬第四中学校	3	1	3	7
清瀬第五中学校	3	4	8	15

Q:学校ごとに巡回日が異なるのはなぜですか?

A:年度初めの各校の<u>通室人数に応じて巡回日を設定</u>しています。

Q:特別支援教室専門員は何をする人ですか?

A: <u>特別支援教室の教員が巡回していない日の生徒観察、保護者や担任との連絡、時間割・教材の作成などの</u> 事務作業を主にしています。

## 各校連絡先

ご不明点やご質問等がありましたら、進学予定の中学校のサポートルームまでご連絡ください。

清 瀬 中 学 校 ・・・ 042-493-6311 清瀬第四中学校 ・・・ 042-493-6314

清瀬第二中学校 ・・・ 042-493-6312 清瀬第五中学校 ・・・ 042-492-6315

清瀬第三中学校 ・・・ 042-493-6313

